

Weekly Report

2023-24年度
国際ロータリーのテーマ



世界に希望を生み出そう

事務局：460-0003
名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
URL：http://www.mizuho-rc.jp/

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：千秋 季頼
幹事：本多 誠之
クラブ広報委員：萩原 孝則
例会日：毎週木曜日PM12:30~
会場：ヒルトン名古屋

2023-24年度
名古屋瑞穂ロータリークラブ
会長のテーマ
「より楽しく、誇りある瑞穂ロータリークラブ」
～明るい未来に向けて、希望を生み出そう～

第2076回例会

～職業奉仕月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2024年1月18日(木) 晴 第22回例会

司会：鳥山政明 会場委員長
斉唱：「それでこそロータリー」「四つのテスト」
ゲスト：名古屋市立大学 医学研究科整形外科分野 准教授 野崎 正浩様
米山奨学生 DAO THI THU NGANさん
ビジター：IM 実行委員会 委員長 萱垣 建 様
IM 実行委員会 式典担当(副) 近藤 元帥 様

会長挨拶

安井友康 副会長

今例会は千秋会長公務ご欠席によりまして先週に続きまして、副会長の安井がご挨拶を代行させていただきます。早いもので年が明けまして、1月中を過ぎますと、ぼつぼつ令和5年分(2023年分)の確定申告の準備の時期となっております。申告の期間は、2024年2月16日から3月15日でございます。高額納税者の会員の皆様におかれましては、ご準備をお願いいたします。



令和5年度の国家予算は114兆3812億円、そのうち国債費が25兆2503億円だそうです。約22%は国債費用の為の予算だそうです。実際の予算は税収が順調であった為、約4兆円増の1184048億円だそうです。気の遠くなる額で私にはちょっとピンとこない規模の金額でございます。大きく税金を分けますと国税、地方税あわせて、所得課税 51.8%・資産課税 13.3%・消費課税 34.8%で99.9%になるそうです。所得課税は所得税・法人税・地方法人税・特別法人事業税・復興特別所得税・住民税・地方事業税等全部で7項目があるそうです。

資産課税は相続税・登録免許税・印紙税等のほか不動産・固定資産・都市計画・国民健康保険税等で14項目消費課税は消費税・酒税・タバコ税・自動車税・揮発油税・ゴルフ場利用税等々25項目、全て合わせて46項目の税金があるみたいで知らない名前の税金も沢山あるみたいです。

例えば「とん税」、豚かと思えば外国貿易船の港への入港に対して船のトン数にかかる租税だそうです。習慣と慣れは恐ろしいもので、会員の皆様は何種類の税金を何も思わなく払ってみえるでしょうか?そこで税金を罰金に皮肉った文言がありましたのでご紹介申し上げたいと思います。

所得税 → 働いたら罰金	護照カカシ → 乗ったら罰金	贈与税 → 貰っても罰金
消費税 → 買った罰金	入浴税 → 入ったら罰金	住民税 → 生きているだけ罰金
固定資産税 → 持ったら罰金	法人税 → 起業したら罰金	年金保険料 → 若い罰金
住民税 → 住んだら罰金	相続税 → 死んだら罰金	介護保険料 → 老いても罰金
酒税 → 飲んだら罰金	相続税 → 継いでも罰金	後期高齢者 → 老いたら罰金
タバコ税 → 吸ったら罰金	贈与税 → あげたら罰金	

止めの文言が 働かなかつたら賞金 → 生活保護

さてさていかがだったでしょうか?

出席報告

小栗栄治 出席委員

会員69名 出席45名 (出席計算人数56名)

出席率 73.77%

ニコボックス

小栗栄治 ニコボックス委員

- ・西名古屋分区分IMにぜひお越しください。萱垣 建さん 近藤 元帥さん
- ・とうとう還暦を迎えました。山口 哲司さん
- ・野崎先生、昨年3月に膝の手術を執刀していただきました。おかげ様で同年7月の野球大会にも参加することができました。大変お世話になりました。杉山 裕一さん

- ・野崎先生、お世話になりました。渡辺喜代彦さん
- ・野崎先生、卓話楽しみにしております。岡部 光邦さん 今川 知也さん 森 裕之さん
- ・能登半島大地震のチャリティーゴルフを2月18日に三好カントリーで開催します。泉 憲一さん
- ・新年あけましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。1/8女房の誕生日にきれいな花をありがとうございます。長坂 邦雄さん
- ・正月元旦の地震びっくりしました。応援します。長谷川 隆さん
- ・先日のダイビング同好会新年会お疲れ様でした。鈴木 淑久さん

幹事報告

本多誠之 幹事

- ・1/18(木) 13:40～第7回理事会、第4回クラブアッセンブリー
ヒルトン名古屋 4F「杉の間」
- ・1/25(木) 11:45～第2回クラブ奉仕委員会 ヒルトン名古屋 4F「杉の間」
12:30～第4回クラブフォーラム (中間決算と組織)
ヒルトン名古屋 4F「竹林の間」
13:40～長期ビジョン委員会 ヒルトン名古屋 4F「梅の間」
- ・※4/20(土)RFF⇒5/11(土)へ変更により、下期例会日程が変更となっております。
4/18(木) 例会変更により休会 通常例会
4/20(土) RFF 例会無し
5/ 9(木) 例会 例会変更により休会
5/11(土) RFF 例会

奨学金授与

DAO THI THU NGANさん



委員会・同好会報告

温泉スキー同好会

毎年、1月末に北海道に行っておりますが、今年は2月の17、18、19日と場所はまた手稲に行く計画をしております。まだ余裕がございますので、行かれる方おみえになりましたらご一報お願いいたします。

1月誕生日おめでとう

天野 正明さん 稲葉 徹さん 村上 学さん 横山 請悟さん
田中 宏さん 田中 英雄さん 山口 哲司さん 市岡 正蔵さん
岩田 修司さん 野崎 洋二さん

ご挨拶

IM 実行委員会 委員長 萱垣 建 様

こんにちは。名駅RCの萱垣です。今年の2月14日に行われます。IMの実行委員長をさせていただいております。委員の近藤も同席させていただきます。瑞穂RCさんにおかれましてはすでに8割の方がご登録されておりますが、是非登録だけではなく、参加もお願いいたします。



IMの目的はロータリアンの親睦と研鑽です。今回のIMの表題は「グローバルイズムの力は世界に何をもちたか」とし、講演は富山和彦氏にお願いしております。演題は『日本経済再興GとLの経済再興戦略』という内容です。是非ともご参加お願いいたします。

ご紹介いただきありがとうございます。名古屋市長立大学整形外科の野崎でございます。本日は普段私がしております膝の治療について少しお話をさせていただきます。

始めに少し膝の解剖のお話をさせていただきます、その後再生医療や様々な手術治療を紹介させていただきます。実はこちらのメンバーの杉山さんの内視鏡手術を昨年させていただきました。こちらのメンバーとは存じ上げておりませんでしたので、先ほどお会いして大変驚きました。



さて、膝の中では骨と骨の間にあるのが半月板が一番大事でクッションの役割をしています。よく間違われるのは、膝蓋骨（いわゆる膝のお皿）と半月板です。私も実際、医学部の学生の時は、半月板というのはこのお皿のことだと思っていました。半月板というのはお皿ではなくて、この骨と骨の間に挟まっているものをいいます。この半月板が膝にはすごく大事で、上から見ると半月の形、アルファベットのCのような形をしています。膝の治療では、膝の変形の度合いに応じて、様々な治療して参ります。ただ、どのような変形の段階でも、初期の治療ではリハビリをしたり、薬を飲んだりという保存治療と言われる治療を始めます。

しかしその様な治療でも痛みが取れない場合は手術治療によって痛みを取るようになりますが、これまで保存治療というのは、種類も少なくヒアルロン酸の注射など、非常に限られた治療しかありませんでした。それが近年、再生医療という細胞を使った治療や、PRPという治療が登場してきました。PRPとはどういったものかと言いますと、患者様自身の血液を採取し、遠心分離をすると細胞成分赤血球は沈殿をします。上澄みは血漿というのですが、この間のところに血小板や白血球赤を豊富に含んだ層が出来ます。これら血小板、白血球が体の様々な部位の再生に関わる大事な役割をしているということが分かってきて、ここを濃縮したものを患者様の自身の膝やその他の体の部位に打つという治療がPRP治療です。

実際、様々なスポーツの選手の治療で使用されていて、アメリカですとフットボールやベースボールの選手への治療として使われており、ドーピングの対象にもなりませんので、スポーツのアスリートには特に好んで用いられています。有名なところだと田中将大選手です。大谷翔平選手は肘のMCL損傷で手術を受けて、また今回再手術を受けましたけれども、田中将大選手は程度が軽かったということもあり、このPRP治療を行い、手術をせずに今に至っております。保存治療にはこのような再生医療も加わり、パリエーションが増え多くの方が治療を受けています。しかし、こういった治療で膝の痛みが改善すればよいのですが、どうしても良くならない場合はやはり手術が必要となるケースもあります。私はもっぱらこの手術治療を専門として仕事をしております。

変形性膝関節症の手術治療では比較的若くて変形のない方には骨切り術という治療、お年を召されて膝の変形進んでいる場合は部分置換という人工関節や、変形がかなり進んで見える方には全置換術という手術をしております。実際に手術を受けられた方を少しご紹介させていただきます。54歳男性、膝の痛み、趣味サッカー。レントゲンでは膝の変形はほとんどないのですが、MRIを撮りますと膝の内側に骨壊死が始まっている状態でした。これを放置しますと、骨が潰れてしまうような状態になりますので、骨切り術という治療をさせていただきました。これはどういう治療かと申し上げますと、体重が乗る場所を膝の内側から外側に変えることによって内側の負担を減らして痛みを取り除いていくという治療です。実際、手術の後のレントゲンで股関節の中心から足首に線を引き、体重のかかる場所を確認しますと、この線が膝の外側を通ることになっています。この線が膝の外側を取るということは、この方が立って歩く時に主に体重が膝の外側にかかる、すなわち悪くなった内側に負担がかからなくなることで痛みが改善するという治療になります。最終的にはほとんどの方が固定した金属を除去しますので、最大の利点は体には何も人工物も残らないことです。自分の骨だけです。膝の痛みがなくなれば、マラソンなどをする方もおみえになります。

骨切り術は、それぐらい激しいスポーツアクティビティに耐えられる治療です。もちろん人工関節をしても膝の痛みは改善しますが、そういった激しいアクティビティをすると、やはり人工関節が壊れてしまう事が問題です。従って、若い方で膝が痛く、変形の軽い方には、このような骨切り術という治療をお勧めしております。

一方で別の患者様ですが、75歳女性、膝の痛みでお困りの方、詳しくお聞きすると「私ちょっとお散歩行けたらいいわ。」とか、「デパートに買い物行けたらいいのよ。」という方もいらっしゃいます。この方のケースは骨切り術より、もっといい方法があります。何かと言いますと、部分置換人工関節という、膝関節の中の内側の悪いところだけを人工関節に変えて、外側の部分はそのままにする治療です。同じ人工関節でも、全てを変えるものに比べ

るとはるかに傷も小さいですし、違和感も少なく済みます。ちなみにこの方、術後は違和感も少なく、正座もされてみえます。部分置換人工関節というのは、変形が軽い方にはとても良い治療です。大体、人工関節の4割ぐらいはこの方法で治療をさせて頂いており、非常に患者さんの満足度が高いです。

もうお一人紹介させていただきます、83歳男性。皆様の中にも多いと思います。趣味はゴルフの方です。膝の変形は軽く、この方も部分置換人工関節を受けられました。手術後1年経過して報告に来て下さり、「エージシュートしたわ!」と仰って頂きました。更に「飛距離も伸びたわ」と仰ってみえて、冗談ですが、なら僕もやってもらおうかと思ったりです。

さて我々は現在、手術支援ロボットというものを使っております。手術支援ロボットと言って皆さん、どのような想像をされるでしょうか。ロボットといっても手や足のついたロボットが歩いてやってきて手術する訳ではありません。我々が使うロボットはロボットアームという部分が、我々が手術の時に骨を切るサポートしてくれると言うものです。患者さんの足にマーカーをつけて、ロボットに患者さんの足を認識させると、どのように骨を切るといいかということもロボットが教えてくれます。現在は手術の前に患者さんのCTデータから、どのように人工関節を設置すると理想的になるかということコンピューター上でシミュレーションをしてプランを立てて、実際の手術ではそのプランニングを忠実に再現するという手順で行っています。ロボットの精度は0.5度、0.5ミリピッチで調整出来るので、非常に正確に手術を遂行する事が可能になっています。

さて、スポーツに関係する膝の話に移らせていただきます。スポーツ選手が選手生命を終る際には、膝の半月板を損傷して引退していくケースが多々あります。本田圭佑選手や澤穂希選手、松井秀喜選手など多くの選手が半月板の手術を受けて、最後には引退しました。半月板損傷のMRIでは、半月板の輪郭が少しぼやけた様に見えます。更に膝の中に欠片の様なものもあります。こういう方の手術致しますと、半月板は変性して、ヤシの葉っぱの様にめくれています。これが膝の動きに伴って膝の中で引っかかり痛みの原因となっています。膝の中で引っかかり、それが外れたりするので、症状が出たり消えたりと言う事を繰り返します。このような半月板の欠片を取るだけの手術であれば10分程度で済みます。杉山さんの手術もそれぐらいの時間で終わりました。基本的には変性した部分だけを切除して、他の部分はそのまま残しておくというのが内視鏡の半月板切除手術です。

もう1つスポーツで多い膝の怪我は前十字靭帯損傷です。ご存じ方多いと思いますが、伊藤みきさんもソチオリンピックの前の12月に前十字靭帯を怪我しました。そのまま手術はせずにオリンピックに行く決断をしましたが、残念ながら公式練習で全然滑れなく、リタイアしてしまいました。前十字靭帯は膝の中心にあって、膝を安定させており、膝に捻りが加わる様なスポーツではとても大切な靭帯です。有名なところでは、スケートの高橋大輔さんです。彼も前十字靭帯を損傷しています。高橋大輔さんの何がすごいかと申しますと、日本男子スケートメダル第1号でありながら、実はこのメダルを取る1年3ヶ月前に前十字靭帯と半月板を損傷していました。

前十字靭帯損傷、半月板損傷と言えば、一昔前はほとんど選手生命の終わりというような怪我でした。その怪我をしながらスケートに復帰するだけでも大変な事にも関わらず、日本男子スケート初のメダルまで取ってしまったと言うのは、本当に素晴らしいことだと思います。私も前十字靭帯損傷の患者さんを年間100人程度治療させて頂き、少しでも早く元のスポーツに復帰して頂けるよう、お手伝いさせて頂いております。スポーツ選手を治療している中で、緑ありトヨタ自動車女子バスケットボールチームのチームドクターも努めさせて頂いております。

私は現在、名古屋市立大学整形外科に勤務しておりますが、我々名古屋市立大学整形外科は最近とても人気があり、人も増えて賑やかになりました。私は膝・スポーツを専門として5-6人のドクターと共に治療をしております。皆様、何かお困りのことがありましたら、お気軽にお声を掛けて下さい。本日はお招き頂き本当にありがとうございます。

例会のご案内

■今 週 1月25日 (木) 第4回クラブフォーラム

時 間：12:30～

場 所：ヒルトン名古屋4F「竹林の間」

■次週卓話 2月1日 (木)

卓 話：野崎洋二 会員

時 間：12:30～

場 所：ヒルトン名古屋4F「桜の間」

■次々週 2月6日 (火) 4RC合同例会

時 間：18:00～20:00

場 所：名古屋マリオットアソシアホテル

※2/8(木)振替による例会変更